

三原市長

岡田 吉弘 殿

要 望 書

令和3年10月29日

三原商工会議所

三原市の令和4年度の予算編成に対する要望について

平素から、市民生活の向上と地域経済の発展に向けてご尽力いただくとともに、商工会議所の事業活動に多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大から約1年9ヶ月が経過しました。収束に向けてワクチン接種の促進により明るい兆しが見えておりますが、8月、9月期の第5波に伴う緊急事態措置の延長などからも、市民生活・企業経営・経済環境への影響は長期化することが避けられない状況にあります。

本所が実施する9月期の景気観測調査の結果では、景気判断指数のDIポイントは、全業種▲42.9ポイントと、前期6月調査結果の▲30.5から12.4ポイント下降。

事業者からは、宣言が解除されても人々の行動が少ないと予測する意見が多く、また第6波の到来も懸念されるなど経営に対する不安の声が寄せられています。

こうした中、本所では、ウィズコロナ・アフターコロナ社会を見据えた経済再生・中小企業支援について、会員事業所より寄せられた様々なご意見の集約を行いました。この結果を踏まえ三原市の令和4年度の予算編成に対し次の通り要望させていただきます。

本所においても、中小・小規模事業者に対し、経営相談に対応していくとともに、融資や補助金・助成金など各種支援策の活用など継続的な支援を行って参ります。

今後も「三原未来の会」等を通じて、綿密な連携により市内の事業者の支援のための情報交換をさせていただき課題の解決に向け取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

【要望事項】

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

①新型コロナウイルスワクチン接種等について

三原市では、備後地方で最も早い4月17日より、高齢者へのワクチン接種を開始していただき、10月11日現在、2回接種の割合は全体で71.9%と高い水準となっています。

また、12歳以上の接種につきましても、「10月中にワクチン接種希望者への8割接種完了」を目指し、お取り組みいただいていると聞いております。

優先接種では、小学生(12歳以上)、中学生、高校生を対象とした夏休み中の接種や妊婦とその家族を対象とした接種、さらに、本所会員の飲食業、理・美容業、宿泊業、貨客運送業等を対象とした職域接種を実施いただき感謝しております。

今後は、集団接種から個別接種にシフトする予定になっているとの事ですが、引き続き、希望者へのスムーズな接種をお願いいたしますとともに、ワクチン接種後についても、油断することなく安全・安心に過ごせるように日常生活における有効な感染防止ルール(新しい生活様式等)のご周知をくださいますようお願いいたします。

②ウィズコロナにむけた、市内経済回復に向けた取り組みについて

新型コロナウイルス感染症の拡大により、各種措置が取られているため、人流抑制がかかり、飲食店を中心とする関係業種を始め、観光関係業種は大きな影響を受けています。ワクチン接種

率が一定の基準に達した場合は、ワクチン接種＋検査パッケージ等も活用しながら、行動制限の緩和に向けた取り組みを検討いただくと共に、県内旅行等のマイクロツーリズムの可能性や、県内旅行者の電子クーポンや割引サービスの支援をお願いします。

また、現在アウトドアがブームで、市内にも複数のキャンプ場を有していますが、屋外での活動は感染リスクも低いと考えられるため、人数制限等のルールを設け、施設の利用緩和についても検討をお願いいたします。

(2) 中小企業への支援

①三原市に本社を置く企業への市税軽減について

現在三原市では、市内の工業・産業団地の誘致に合わせ「三原市工業等立地促進制度」が施されています。また、地域未来投資促進法に基づく支援策や、本社機能の移転・拡充に関する支援策などを行っておられます。

それに加えて、三原市内に本社を置き、同市内で生産活動を行う事業者に対し、市内事業者の競争力・販売力強化への注力及び、市外地域に向けた企業誘致の一環として、固定資産税などの市税、上下水道料金、可燃ゴミ・不燃ゴミの廃棄費用などの軽減処置を希望いたします。これにより、市外からの財貨の移入の促進、本社機能の移転・拡充を検討する企業へのアプローチ、ひいては市の財政強化に貢献できると考えておりますので、ご検討のほどよろしくをお願いいたします。

②事業所の環境設備設置等に関する支援について

「先端設備等導入計画」に係る固定資産税の特例などの支援措置について、現在三原市では、太陽光発電設備は認定の要件から対象外とされていますが、福山市では、太陽光発電設備は認定先端設備等計画に位置付けられた資産であれば対象になると聞いております。

市内事業所においても、環境問題への対策とし、省エネの促進、脱炭素実現に向けた取り組みが推進していくため、三原市でも環境設備設置等に関する支援についてご検討くださいますようお願いいたします。

③三原市産の特産品の開発に対する補助・助成について

三原市では、第2期三原市農業振興ビジョンを策定され、農業振興に取り組まれていると聞いております。このビジョンの中では、「6次産業化、多様な連携促進」も施策課題とされておりますので、さらなる地産地消の推進、三原市の特産品の強化・周知を図るため、三原市産の農産物を使用した「三原市産の特産品」の開発に対する事業者とのマッチングの機会を設けると共に、そうした機会の中で取り組む商品開発にかかる費用（専門家相談・加工場の利用・都市圏での販促調査等）について、補助・助成についてご検討をお願いいたします。

(3) 安心・安全に暮らせるまちづくり

①社会資本の整備・維持更新について

気候変動の影響等により頻発化・激甚化する自然災害は、市民生活や企業活動へ大きく影響します。市民の誰もが安心・安全に暮らすための、事前防災および道路や河川など、公共土木設備等の社会資本の整備と老朽化する社会資本の維持更新を図るため引き続き安定的・持続的な予算の確保をお願いいたします。

②ライフラインに関わるトラブル発生時の情報提供について

三原市では、令和3年8月10日（火）15時45分に西町一丁目で水道管の漏水事故が発生し、西野浄水池の緊急遮断弁が作動したため、市内の一部で出水不良が発生しました。その後、8月11（水）1時に復旧工事が完了し、出水不良は解消しました。

この出水不良が発生した際に、事業者から電話で問い合わせをしたが電話がつながり難く困ったとの声が本所にも寄せられました。

三原市公式LINEでは、8月10日（火）の21時00分に出水不良解消の配信をされていますが、水道などライフラインに関わるトラブル発生時には、ホームページやLINE・メール配信や、地元メディアなどにも情報提供等を行い、できるだけ迅速に情報発信くださるよう対応をお願いいたします。

令和3年10月29日

三原商工会議所

会 頭 森 光 孝 雅